

厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）
 （総括・**分担**）研究報告書

聴覚障害児に対する人工内耳植込術施行前後の効果的な療育手法の開発等に資する研究

研究代表者又は研究分担者 佐藤 智生 医歯薬学総合研究科（医学系）助教

研究要旨：

人工内耳植込み術施行前後の多職種連携による効果的療育に係る好事例・青年～成人の先天性難聴症例を収集し、解析データと共に冊子にまとめ配布することで、難聴児の人工内耳に関する適切な療育方法の全国的な周知を図った。

A. 研究目的

本研究は人工内耳植込術前後の療育がうまくいった例を収集して、それに関わる因子を記述的に収集しようとするものである。特に多職種の連携に関わるものを検討し、具体的な例として提示することで、わかりやすく社会的啓蒙を行うことが目的である。

B. 研究方法

療育のうまく言っている例（好事例）の基準の作成、spread sheetへの入力フォームの作成。記述的記録の作成、他施設への研究協力依頼し、収集したデータを製本化するため校正を行った。

（倫理面への配慮）

対象症例にはインフォームド・コンセントまたはオプトアウトをとるよう、各施設へ依頼し、長崎大学病院倫理委員会の承認、各研究協力施設での倫理委員会の承認を得た。

C. 研究結果

他施設の協力を得て、好事例・青年～成人の先天性難聴症例を収集し、解析結果と共に収集データを冊子にまとめ、全国の人工内耳の手術病院、リハビリ施設、各県の自治体へ配布した。

D. 考察

特になし

E. 結論

本研究の成果物が我が国での難聴児の最適な療育方法の普遍化と確立に役立つことが期待される。

F. 健康危険情報

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

G. 研究発表

1. 論文発表
特になし
2. 学会発表
特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
特になし
2. 実用新案登録
特になし
3. その他
特になし